

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成24年(2012)3月31日発行
 ■発行人/津田大三 ■編集長/山本恵一・田中明秀
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
 http://jimin-kyoto.jp/

No.37

自民議員団が リーダーシップ

推進委員会

市会改革の決定項目次々

市会改革推進委員会においては、平成24年度も引き続き、自民党がリーダーシップをとって改革に取り組んでいく覚悟です。前回の議員団ニュースで「審査内容の事前告知、モニター室閲覧部数の増加、議会の新たな情報発信」をお伝えしましたが、今回はそれ以降に議論し、決定した事項、または前回の決定を受けて実施したものについてお知らせします。

【議会の新たな情報発信】
 前回のニュースでお知らせした「議会の新たな情報発信」については、試行的な取り組みとして、平成24年2月市会の日程等を周知する印刷物(チラシ・ポスター)を作成し、市公共施設等に配架・掲出するとともに、議員による配布を行いました。

また、広報紙「京都市会だより」のリニューアルをはじめとした広報の充実を

図るとともに市会の様々な取組の強化に役立てていくことを目的として、市民の皆様から広く意見をお聞きする「市民アンケート調査」を2月24日から3月27日まで実施しました。



京都市会
 22日(水) 24日(金) 27日(日)
 2月24日(金) 本会議(招集)
 3月1日(水)・2日(木) 本会議(代表質疑)
 15日(水)・16日(木) 予算特別委員会(市長総括質疑)
 27日(日) 本会議(最終)
 午前10時開会
 京都市役所本庁舎2階市会議場
 TEL 075-222-3697 FAX 075-222-3713

2月市会開会を周知したポスター

【参考人制度の積極的活用】
 委員会審査の参考とするための参考人制度については、現行の制度の趣旨をしっかりと認識したうえで積極活用に向けて取り組みとともに、議長への事前通知を省略することによって、手続きの簡素化を図ることとしました。

【正副委員長主導による委員会運営】
 正副委員長が密に連携をとり、委員会の組み立てについて事前に打ち合わせを行う等、委員会を円滑に運営できるよう努めることが確認されました。

約1千4百万円が当日会場などでの義援金と併せて被災地に送られるなど、大会を通して様々な復興支援の取り組みが行われました。なお、京都市内は広い範囲で大規模な交通規制が行われましたが、市民の皆様への「ノーマイカーデー」への協力により、大きな交通渋滞や、市バスの運行に支障を与えることもなく、スムーズな運行が確保できたことは、京都市、京都府警、市民あげて大会を成功させたことへの強い思いの表れではないかと思えます。また、競技中、40歳代の男性が心肺停止になりましたが、132台のAEDを配備したことが功を奏し、いち早く対処できたことも特筆すべき出来事でした。

京都マラソン2012

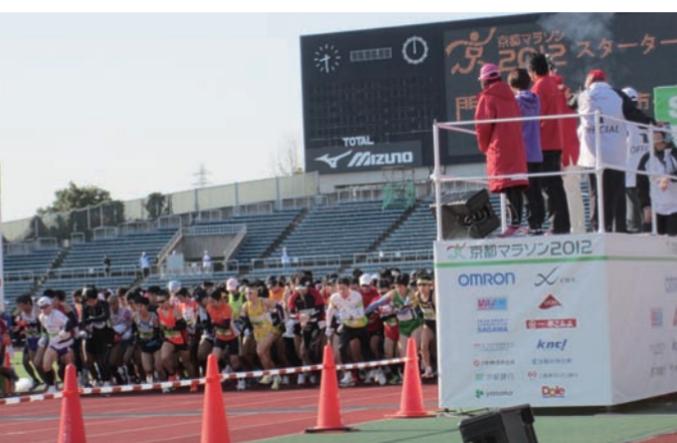
沿道48万人の声援

震災復興支援を掲げて

東日本大震災から1年、復興支援を掲げて3月11日、京都市内で初めての市民参加型フルマラソン「京都マラソン2012」が開催されました。

スタートセレモニーでは、ランナーやスタッフ全員が黙とう。その後、8時25分には車いす競技が、また、8時30分にはマラソンとペア駅伝競技がスタートしました。

1万4千93人のランナー(男性81・1%、女性18・9%)は、仁和寺・金閣寺周辺など世界遺産付近や鴨川河川敷、今出川通や東大路などの「都大路」を経て平安神宮前のフィニッシュ地点を目指しました。(車いす競技は6・1kmの嵐山まで)



14,093人のランナーが西京極陸上競技場をスタート



平安神宮前へゴール、13,442人が完走した。

今後とも、この「京都マラソン」を、京都の新しい「スポーツ財産」として、末永く市民ぐるみで育てていくよう、自民党議員団も支援をします。

マニフェスト実現に向け

予算の確保が重要 行財政改革を強く推進

橋村芳和議員 (伏見区)

橋村芳和議員(質問) 市長選挙で示されたマニフェストは、わが党の15項目の要望をほぼ満たしております。また、「はばたけ未来へ!京プラン実施計画」には、マニフェストで約束された全ての施策が盛り込まれ、実現に向けた市長の強い決意を感じますが、実現のための予算確保が重要です。厳しい財政運営を余儀なくされる中、マニフェストの完全実現に向け、どのように予算を確保されるのか、お聞かせ下さい。

京都の防災対策 最優先の課題は

橋村芳和議員(質問) 市長は防災対策の推進を24年度予算の3つの柱の一つに据え、防災関連事業に161億円も充てておられます。防災対策の強化は、心強いものですが、源収入の増加を目指します。なお不足する財源は、特別の財源対策を実施せざるを得ず、国に対し、安定的な社会保障制度の確立など地方財政制度全般にわたる改革の提言・要望を行います。

橋村芳和議員の質問項目

1. 市長選挙の総括
2. マニフェスト実現に向けて
 - ・予算の確保
 - ・執行体制
3. 力強い経済の再生と雇用の創出
4. 府市協調による二重行政の打破の取り組み
5. 関西広域連合に付いて
6. 東日本大震災から一年を迎えた京都市の防災対策
7. 京都市の交通事業の経営健全化の取り組みと地下鉄の可動式ホーム柵
8. 日本酒の振興について



求められる防災対策の強化。災害時を想定して防災訓練

伏見の日本酒 需要拡大へPR

橋村芳和議員(質問) 京都が誇る伝統産業である日本酒の振興は、酒どころである伏見を抱える本市にとって、率先して取り組むべき課題です。国内の日本酒の需要は、

大変厳しい状況が続く中、海外の日本酒ブームで、昨年の輸出量が過去最高を更新しましたが、外国の人たちに任せている場合ではありません。日本の食文化としての日本酒

皇室の京都御居住を望む

内海貴夫議員 (東山区)

内海貴夫議員(質問)

一部機能の誘致を 関西広域連合でも検討

全国的に見て比類なき特色を有する京都は、日本国の象徴たる天皇陛下及び皇族の方々の生活の場として相応しい雅なまちです。関

のPRなど、一層の取り組みの推進を願います。
細見吉郎副市長(答弁) 企画次第で日本酒のイメージ向上や飲む機会の拡大に大きな可能性があることを実感して

おります。業界組合や日本酒愛好者等の皆様との連携を今後一層密にし、国内外へ積極的に日本酒の魅力を発信し、需要拡大に繋げて参ります。



皇室の御居住に相応しい雅のまち京都(京都御苑)

は業界団体だけでなく、意欲のある事業者が海外で販路を確保するための、より効果的な支援も必要だと考えますが、いかがですか。

門川大作市長(答弁) 24年度は商品づくりから商談成立後のアフターフォローまでのアドバイスを行う人材を確保し、事業者の海外展開をサポートする「京もの海外市場開拓事

京もの海外市場 開拓に支援必要

内海貴夫議員(質問) 今後

内海貴夫議員の質問項目

1. 関西広域連合加盟
 - ・皇室の京都御居住
 - ・リニア中央新幹線
2. 伝統産業界の一層の活性化
 - ・海外での「京もの」伝統産業開拓事業のあり方
 - ・「京もの」に関心を持ち、京都に観光に来てもらった時の伝統的工芸品の販売のあり方
3. 京都市立東山泉小・中学校
 - ・6年生の教室
 - ・6年生及び7年生～9年生のお昼ご飯
 - ・6年生の教育内容
 - ・1年生～5年生、7年生～9年生の教育力の向上

東山泉小・中学 教育環境に関心

業」を新たに創設、意欲ある事業者の活動を支援して参ります。また、外国人観光客に伝統産業の魅力を発信するため、今後はMICE関係者や富裕層などの誘致強化に努め、京の匠の技を味わう機会を増やして参ります。

内海貴夫議員(質問) 現月

輪中学校舎内に6年生だけのフロアが確保できるのか。6年生のお昼ご飯をどうするか。6年生の教育内容がどうなるのか。1年生から5年生、7年生から9年生も東山泉で伸びることも大変重要だと考えますが、いかがですか。

高桑三男教育長(答弁) 新たな教育システムの下、特色ある教育活動の展開を図り、小中一貫教育のモデル校として、学級担任制と教科担任制併用などを通じ、学力の定着向上やいわゆる中1ギャップの解消に向けた取り組みを進めて参ります。月輪中学校校舎は、6年生がスムーズに教育環境に適應できるよう普通教室を同一フロアに配置し、多様な学習展開に対応できる必要な校舎改修を行います。6年生の給食は、中学校給食に準拠した方式を提案していますが、PTAや地域の方々とともに協議し、秋ごろを目途に実施方法を決定します。

代表質疑

2月定例会市会

3月1日

学校給食食材基準厳しく

大西均議員 (左京区)

大西均議員 (質問)

政府は、今年4月から適用される国の食品に含まれる放射性セシウムの新しい基準値を示しました。これに対し、京都市は、学校給食の食材のうち「一般食品」に含まれる放射性物質について、国の新基準値の半分を限度値とする独自基準値を設定されるなど、国に先行して実施したことは評価しますが、そもそも、国の基準に信用が置けるのかが問題です。国への信頼が、これほど国民から失われた責任がどこにあるかは論じませんが、その基準が信用ならないわけですから、特に幼児、児童に与える食品については、慎重であらねばなりません。市長の決

意をお聞かせ下さい。

門川大作市長(答弁) 学校給食では一般食品について、

国基準の半分を上限とする厳しい基準を独自に設定し、また、第一市場において、より多くの検査に対応できるように

検査機器を更新し、検査体制を強化して参りました。

引き続き、食品の放射能検査を実施し、検査結果を速やかに分かりやすく公表するなど、食の安全安心の確保に全力を傾注します。

市独自の設定評価 慎重に子どもへの食品

放射線物質について、国の新基準値の半分を限度値とする独自基準値を設定されるなど、国に先行して実施したことは評価しますが、そもそも、国の基準に信用が置けるのか



和服姿で本会議代表質疑の答弁をする門川市長

全員和服着用の 本会議開催提案

大西均議員 (質問) 祇園祭や大文字の送り火の頃、若者の浴衣姿の多さに目を奪われますが、浴衣姿が多くなった理由に、安価な小物を含む浴衣用品の販売があるのではないかと考えます。これら手軽な製品が浴衣の底辺拡大に、和服文化に寄与した功績は否定しがたいです。ともすれば、高価で贅沢品とみられる伝統

大西均議員の質問項目

1. 二元代表制
2. 原子力発電事故に伴う対応
 - ・被災地ガレキの受入態勢
 - ・自然エネルギーへの転換
 - ・学校給食食材の独自基準
3. 市バス事業におけるICカードの導入
4. 高齢者問題
 - ・高齢者施設整備の充実
 - ・市民後見人の養成(要望)
5. 京都らしい町はどんな町であるべきか
 - ・伝統産業、工芸の振興
 - ・宗教文化に対する行政の関わり
 - ・町の文化と行政区の関係
 - ・町環境、文化の保存

工芸品を、安価に提供されていることを如何様に思われているのか。また、年間10数回

注目の動物愛護センター

京の文化力を示す 「いのち」大切さ築く拠点

中村三之助議員 (上京区)

中村三之助議員(質問) 「動物愛護センター」の整備事業は全国から注目されており、間違いなく京都の文化力が問われる施設となります。全国一の「動物愛護センター」創設に向けた取り組みを。

門川大作市長(答弁) センターを単なる動物愛護の施設としてではなく、動物とのふれあいを通し、「いのち」を大切に

するまちを築くための拠点施設にして参りたいと考え

中村三之助議員の質問項目

1. 動物愛護センターの施設整備の推進
 - ・施設の充実
 - ・ドッグライセンスシステムの創設(要望)
 - ・「まちなこ支援事業」の充実に向けて
2. LED電球助成制度の実施
3. 少年非行問題の対応策
 - 〈学校〉・集団行動の重要性[行動規範の育成]
 - ・「長期宿泊自然体験学習」の必要
 - ・教師の事務量の軽減と効率化
 - 〈地域〉・「地域コミュニティ活性化推進条例」の推進
 - ・推進計画に関して「共通の価値観の共有化」
 - ・区役所「まちづくり推進課」の増強の必要性
 - ・夏季、冬季休業などの統一の必要性(要望)
 - 〈家庭〉・「一日保育士体験」事業の創設
4. 児童福祉施設出身学生の大学進学に対する助成制度の創設
5. 伝統産業、和装振興
 - ・「伝統産業の日」関連事業の充実化
 - ・公共施設に伝統工芸品の展示を

一日保育士体験 体験事業を提案

中村三之助議員(質問) 親が幼稚園や保育園で一日八時間、先生方の助手役をするこ

ある本会議のうち、何回かを和服を着用してもらうのは如何でしょうか。広く京都市民に和服を着用してもらおうためにも、京都が京都らしくあるためにも、議員も手近なところから始めなければならぬのではないのでしょうか。それ

が、京都の議会がやるべきこと、京都の議会だからできることではないでしょうか。門川大作市長(答弁) きものを着る機会が減少している現在、安価なものでもまずはきものに触れ、それを契機に、京都の伝統文化・産業の素晴らしさを実感していただくこ

とが将来の需要拡大に繋がるものと考えます。今後、更に広く市民の皆様

伝統産業と和装 振興へ取り組み

中村三之助議員 (質問) 震災の影響も受けた、京都の伝統産業・和装業界の需要減に

菌止めを掛けるための取り組みが必要であります。また京都がしっかりと伝統産業技術を保存・継承し、京都の伝統工芸品の素晴らしさを一層理解してもらうためにも、公共施設に京都の伝統工芸品を調度品として映えるように展示していくことを提案します。

門川大作市長(答弁) 市役所をはじめとする公共施設に調度品として積極的に取り入れることは、中村議員ご提案の通り大変重要であると考

えております。また京都市役所と職員が、業界等の協力を得ながら、まずは率先して京都の伝統工芸品を活用する取り組みを実践する中で市民の皆様にも一層ご活用いただくことなどでも需要の拡大に繋げて参ります。



小学校の副読本「わたしたちの伝統産業」表紙イラスト(一部)

自民党がやりました!!

自由民主党京都市会議員団は、市民のいのちと暮らし、安心・安全をしっかりと支えることができる未来の京都を創造していくために平成23年度は地域に密着した様々な事業を実現させてまいりました。行政区別に主な項目を紹介しします。

未来の京都を創造 施策と事業

23年度行政区別

北区

- ▼上賀茂伝統的建造物群保存地区の無電柱化が完成
- ▼紫竹学区を「エコ学区」に認定
- ▼北区北部山間いきいき大作戦「エコツーリズムキャンペーン」実施




小林正明 山本恵一

上京区

- ▼「上京区総合庁舎整備事業基本設計」策定
- ▼春日学区を「エコ学区」に認定
- ▼上京北野界わい景観地区道路整備(上七軒通)




中村三之助 寺田一博

左京区

- ▼左京区総合庁舎オープン
- ▼岩倉南児童館開館
- ▼「岡崎・あかりとアートのプロムナード」開催




大西均 桜井泰広

中京区

- ▼二条駅まちかど東駐輪場整備
- ▼「Kotochika御池」開業
- ▼「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」開始




加藤盛司 津田大三

東山区

- ▼産寧坂伝統的建造物群保存地区の無電柱化が完成
- ▼東山開晴館開校
- ▼今熊野学区を「エコ学区」に認定



内海貴夫

山科区

- ▼音羽児童館の設置
- ▼山科警察署百々交番の設置
- ▼獣害対策の拡充




富きくお 吉井あきら

下京区

- ▼JR丹波口高架下・四条大宮まちなか駐輪場整備
- ▼京都駅前環境整備(塩小路通の街灯の照度改善と歩道の緑化)
- ▼新釜座町(石畳風(保水性)舗装工事着手)



下村あきら

南区

- ▼祥豊児童館開館
- ▼九条学区を「エコ学区」に認定
- ▼南区初の小中一貫校「凌風小中学校(凌風学園)」が完成(陶化小・東和小・山王小・陶化中の統合)




椋田隆知 島本京司

右京区

- ▼右京区制80周年記念事業の展開
- ▼西京極西児童館開館
- ▼栗尾バイパスのトンネルが貫通





井上与一郎 田中英之 山元あき

西京区

- ▼松尾学区と境谷学区を「エコ学区」に認定
- ▼洛西ニュータウンの老朽化した水道管の更新期間を5年から2年に短縮決定
- ▼桂巽公園・平和台公園に街頭防犯カメラの設置




田中明秀 西村義直

伏見区

- ▼伏見区制80周年記念事業の展開
- ▼「ふかくさ100円商店街」開催
- ▼「久我・久我の杜・羽束師地域の総合的なまちづくりビジョン」策定






高橋泰一朗 繁隆夫 橋村芳和 中川一雄

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい